令和2年度 第2回

安城市博物館協議会

令和2年7月22日（水）

午後1時30分～午後2時30分

歴史博物館・講座室

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 令和元年度事業報告

(2) 令和2年度事業計画（案）

(3) 令和2年度開催済事業報告

(4) 令和2年度下半期事業（案）

4 その他

(1) 指定管理者外部評価部会の結果について

(2) 歴史博物館駐車場工事について

(3) 今後の日程

・合同研修 ~~11月12日（木）~~ 中止

・第3回 1月29日（金） 午後1時30分

安城市博物館協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

	氏名	選任区分
会長	高山 忠士	学識経験者
副会長	加藤 りせ子	社会教育
委員	鈴木 健吾	学校教育
委員	市川 とし子	学識経験者
委員	荒井 信貴	学識経験者
委員	永谷 史朗	公募委員

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

(1) 令和元年度事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数 ※9月2日～令和2年3月31日まで耐震工事の為、休館

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人	計	大人計	合計				
4	252	252	2,126	2,674	2,378	2,926	3,346	20	741	7,033
			548		548					
5	227	227	1,684	6,583	1,911	6,810	2,133	21	668	9,632
			4,899		4,899					
6	142	142	1,480	4,310	1,622	4,452	2,469	16	644	7,581
			2,830		2,830					
7	569	569	401	1,118	970	1,687	1,214	29	680	3,610
			717		717					
8	1,772	1,772	1,578	2,359	3,350	4,131	3,749	32	634	8,546
			781		781					
9	180	180	200	335	380	515	790	0	104	1,409
			135		135					
計	3,142	3,142	7,469	17,379	10,611	20,521	13,701	118	3,471	37,811
			9,910		9,910					

※安祥文化のさとまつりは休館中のため人数計上せず。

(イ) 利用形態別入館者数

月	展示観覧者	講演会 (シンポジウム 含む)	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	歴博イベント	上映会	歴博演芸場	企画展 関連イベント	文献資料室	その他	延べ利用者合計
4	2,926	0	0	27	0	28	962	132	253	1,944	20	741	7,033
5	6,810	47	0	393	94	25	0	140	0	1,434	21	668	9,632
6	4,452	0	16	44	57	26	0	146	0	2,180	16	644	7,581
7	1,687	40	0	30	48	25	40	92	0	939	29	680	3,610
8	4,131	0	34	47	0	25	279	84	481	2,799	32	634	8,546
9	515	0	0	0	0	0	609	0	0	181	0	104	1,409
計	20,521	87	50	541	199	129	1,890	594	734	9,477	118	3,471	37,811

<参考> 30年度との比較

行事名等	30年度	元年度	行事名等	30年度	元年度
展示観覧者	44,235	20,521	歴博イベント	11,119	1,890
講演会	1,007	87	上映会	1,601	594
歴博講座	328	50	歴博演芸場	909	734
体験講座	701	541	展示関連イベント	9,882	9,477
連続講座	328	199	文献資料室	274	118
イベントその他	0	0	その他	9,781	3,471
入門講座	119	129	合計	80,284	37,811

(ウ) 収蔵資料貸出状況

a 資料貸出 6件 (788点)

甕復元模型、南吉下宿先の模型、『弥厚翁』、薬師如来像、不動明王像、
絵はがき、内行花文鏡、聖徳太子絵伝模写など

b 画像提供 33件 (144点)

雛人形・端午の節句関係資料、絵はがき、石川丈山像、戦争体験絵、明治航空基
地、文字書きからくり人形複製、亀塚遺跡人面文壺形土器、都築弥厚像、箕輪村
絵図、三人道中、南蛮屏風、東京オリンピックポスターなど

c 資料調査・その他 16件 (62点)

パンフレット『産業の安城』、新板諸国はいかいし大角力ばん付、絵はがき、
木戸村地籍図、山崎延吉日記、亀塚遺跡人面文壺形土器、震災関係書綴など

イ 収集・保管活動

(ア) 寄贈資料 22件

・高木町稲垣家資料	家、学校関係資料等
・御幸本町相木家資料	広瀬酒店資料等
・木戸町平岩家資料	悠基斎田関係資料
・昭和町森下家資料	軍記章等
・赤松町安藤家資料	日中戦争時写真アルバム等
・末広町笠原家資料	軍記章・軍隊手帳等
・桜井小学校資料	桜井凧
・今池町神田家資料	東京オリンピック記念メダル
・岡崎市井上家資料	東京オリンピック写真集等
・桜井西町町内会資料	半鐘
・環境都市推進課資料	市消防署桜井出張所看板
・住吉町石川家資料	海軍施設協力会詰所看板
・埼玉県榑原家資料	桜井神社神主家資料
・上条町鈴木家資料	帝国海軍々楽隊吹奏楽集レコード
・大東町久保家資料	東京オリンピック関係資料
・小川町天神社家資料	神社資料
・安城市教育センター資料	教材用16ミリフィルム
・末広町大嶽家資料	屏風等
・花ノ木町大見家資料 (2件)	家資料、棟札、印刷会社資料
・碧海郡役所資料	明治・大正年間の郡役所資料
・悠基斎田資料	大正3年の碧海郡悠基斎田資料

(イ) 購入資料 12件 55点

・本多正信書状	1枚
・加藤嘉明伝	1冊
・駿河土産	2冊
・紀伊国名所図会	23冊

・木曾路名所図会	7冊
・和泉名所図会	4冊
・東国名勝志	5冊
・西国三十三所 靈驗記	3冊
・古今諸大名所附（日本武城旧記全）	1冊
・御山絵図 日光山名跡誌	1冊
・遠江秋葉山縁記	1冊
・養生弁	6冊

(ウ) 寄託資料

- ・神光寺薬師如来再興化縁起
- ・上条町内会資料

ウ 展示活動

(ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
8月8日	古代集落、村の文化	博物館実習生による
3月31日	顔のメッセージ 古代集落 安城城と松平氏の発展 近世村の仕組み 茶屋コーナー 文人 丈山の世界 俳諧・狂俳の世界 三河万歳 長屋コーナー	大規模改修終了後の常設展復旧に伴う

(イ) 特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	安城の今昔1 火消しまい るー消防の歴史と道具ー	4月13日 ～6月30日	7,500人	9,638人
②	特別展	1964 ー東京五輪がも たらしたものー	7月20日 ～9月1日	4,500人	3,573人
合 計				12,000人	13,211人
30年度					32,772人

① 企画展「安城の今昔1 火消しまいる ー消防の歴史と道具ー」

1 会 期 平成31年4月13日(土)～6月30日(日) 実開館日70日

2 観覧者数 9,638人【目標7,500人】1日平均138人
(一般6,116人、見学学習3,472人)

3 期間中の催し物
(主なものは「エ 教育普及活動」を参照)

4 音声ガイドの利用状況 144人 一般観覧者利用率2.3%

5 パンフレット 1,800部発行(無料配布)

6 展示について

(1) 展示点数 147点(パネル写真含む)

(2) 元年度より「安城の今昔」と題して、展示機会が少ない民具類の展示のシリーズの第1弾であった。まとまりのよい消防に関する道具だったため、全体構成は整っていた。

(3) 道具と歴史に分けて2部構成としたが、一部動線が分かりにくいところがあり、観覧者が順番通り観覧できないところがあった。

(4) 展示準備の最終あたりに消防署が協力したが、観覧者数の効果は不明。

7 観覧者について

(1) 見学学習の小中学校に企画展観覧を積極的に働きかけた。その結果、多くの小中学校が企画展を観覧し、観覧者数の目標達成に大いに貢献してくれた。

(2) 平日の一般観覧車が少なかった。アンケート、音声ガイドも観覧車数に対して少なかった。

(3) 4月下旬から5月上旬のゴールデンウィーク中の催し物やウォーキングで多くの来館者があり、無料の本展示会に多くの観覧者が入り目標人数を大幅に超えた。

② 特別展「1964 ー東京五輪がもたらしたものー」

- 1 会 期 令和元年7月20日(土)～9月1日(日) 実開館日39日
- 2 観覧者数 3,573人【目標4,500人】1日平均92人
- 3 期間中の催し物
(主なものは「エ 教育普及活動」を参照)
- 4 音声ガイドの利用状況 980人 利用率27%
- 5 展示図録 入庫800冊、定価1,400円、販売数151冊
- 6 展示について
 - (1) 展示点数 179点(うちパネル展示24点)
 - (2) 聖火ランナーの伊吹昭人氏が実際に使ったトーチやウェアの展示にテレビ局のみならず、一般観覧客の注目も集められた。また、小学生に当時の経験について話されたり、展示記念講演会を聴講するなど、当展示に大いに協力をいただいた。
- 7 観覧者について
 - (1) 展示開始ごろは中日新聞や朝日新聞で紹介されたものの、観覧者数は中盤にかけて伸びなかった。しかし、8月下旬からテレビやラジオで紹介されたことで更に周知されるようになり、最終週だけで1,000人を超える観覧者数を記録した。
 - (2) 展示室の入口前に設けた聖火台の造作を観覧客がSNSに投稿することで、当展示を知るきっかけのひとつになったと思われる。
 - (3) 東京オリンピックまであと1年に差し迫った中で行われたが、世間の関心が薄かったのだろうか、時期尚早だったと思われる。

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会・シンポジウム

開催日	演 題	講 師	聴講者
5月18日	「秋葉信仰と防火」	堀江登志実氏 (岡崎市美術博物館学芸員)	47
7月20日	「1964年東京オリンピック が残したもの」	松林秀樹氏 (平成国際大学スポーツ健康学部 准教授)	40

合計 87 人

b 歴博講座・入門講座

(a) 歴博講座

開催日	演 題	講 師	聴講者
6月15日	「安城の消防の歴史－自衛の時代から 警防団まで－」	三島一信 (本館学芸員)	16
8月17日	「オリンピックの前と後」	石川貴信 (本館学芸員)	34

合計 50 人

(b) 入門講座

「目からウロコ安城史『こうしてできた安城の町－明治・大正・昭和－』」

開催日	演 題	講 師	聴講者
4月13日	「そこは安城ヶ原だった－安城のポテンシャル－」	高山忠士氏 (本館元館長)	28
5月11日	「安城ヶ原に駅ができて－駅の誘致と駅前集落の形成－」		25
6月8日	「日本中から人が来る－ブランド、安城デンマーク－」		26
7月13日	「町は急には変わらない－変化への対応①－」		25
8月10日	「したたか安城人－変化への対応②－」		25

合計 129 人

(c) 安城歴博・中京大学連携講座

開催日	演 題	講 師	聴講者
5月25日	「弘治年間の今川・武田・織田の拮抗 －三河念劇を取りまく政治環境－」	村岡幹生氏 (文学部教授)	94
6月22日	「尾張徳川家の姫君と武家社会」	白根孝胤氏 (文学部教授)	57
7月27日	「壬申の乱と東海道の古代氏族」	西村健太郎氏 (文学部古文書室学芸員)	48

合計 199 人

(イ) 展示関連イベント

開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加者
4月13日～ 6月30日	安城の“火消し”を体験 (刺し子で小物づくり)	企画展「安城の今昔1」	21日間	187
4月13日～ 6月30日	クイズ火消しまいる!	同上	70日間	1,903
4月13日～ 6月30日	火消しまいる撮影コーナー	同上	63日間	781
4月13日～ 6月30日	きせかえ顔出し	同上	70日間	678
4月13日～ 6月30日	安城の“火消し”を体験 (民具に触れる)	同上	22日間	2,009
7月20日～ 8月29日	1964年写真撮影コーナー	特別展「1964」	36日間	1,580
7月20日～ 9月1日	遊べる鉄道ジオラマ新幹線 を走らせよう!	同上	39日間	942
7月20日～ 9月1日	可愛くデコろう!フォトフレ ームづくり	同上	39日間	808
7月20日～ 9月1日	謎ときクイズラリーにチャ レンジ! 聖火の火を守れ!	同上	39日間	589

合計9,477人

(ウ) 上映会 「昭和の名作シネマ」

開催日	タイトル	出演	鑑賞者
4月28日	「若い人」(1962)	石原裕次郎、吉永小百合、 浅丘ルリ子	132
5月26日	「愛と死をみつめて」(1964)	吉永小百合、浜田光夫	140
6月30日	「哀愁の夜」(1966)	舟木一夫、藤竜也、和泉雅子	146
7月28日	「けんかえれじい」(1966)	高橋英樹	92
8月25日	「スラバヤ殿下」(1955)	森繁久彌、馬淵晴子	84

合計594人

(エ) 体験講座等

開催日	講座名	講師	参加者
4月20日	はじめての刺し子体験 ～おしゃれ小物を作ろう～	伊藤恵梨氏 (伊藤刺繍店)	27
5月3日	鎧の試着会	職員・博物館ボランティア	59
5月4日			77
5月5日			229
5月9日	姫きもの作ろう	榊原清美氏 (古裂美術工房)	14
5月23日			14
6月13日			14
6月27日			13
7月11日			15

7月25日			15
6月29日	三河仏壇伝統工芸士の技に学ぶ 「彫金を体験」	小林敏宏氏、村井義幸氏	17
8月24日	オリジナル風鈴づくり	職員	47

合計 541 人

(オ) 歴博演芸場 会場：石舞台・エントランスホール 鑑賞無料

開催日	演 題	出演	鑑賞者
4月27日	衣浦東部広域連合消防局音楽隊 ふれあいコンサート	てらべマーチングバンド、 衣浦東部広域連合消防局音楽隊	253
8月30日	格調高き昭和歌謡	甚目裕夫、蛭牟田実里、 伊藤奈由美	236
8月31日	安城の芸妓衆	安城芸妓衆	245

合計 734 人

(カ) 歴博イベント

開催日	タイトル	実施日数	参加者
4月27日	消防車がやってくる!消防体験デー	1日間	962
7月26日～ 7月28日	夏休み自由研究相談会	3日間	40
8月30日～ 9月1日	ナイトミュージアム	3日間	888

合計 1,890 人

(キ) 刊行物

- a 特別展・企画展図録 (パンフレット)
- 企画展「安城の今昔1 火消しまいるー消防の歴史と
道具ー」 A4 8頁 1,800部
- 特別展「1964 - 東京五輪がもたらしたものー」 A4 66頁 800部
- b 安城歴史研究第45号 A5 101頁 250部
- c 年報28号 A4 54頁 350部
- d れきしみち 全て A4 8頁 2,500部
No.113 7月号、No.114 10月号、No.115 1月号、No.116 4月号
- e 催し物案内
2020年4月～9月 83,700部
※2019年10月～2020年3月は休館のため発行せず。
- f その他 安城市文書史料集成 第7集 A4 189頁 400部

(ク) 見学学習

a 市内小学校6年生(企画・特別展、常設展、埋文セ) 見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数		
5	14	火	里町小	6	100	6	26	水	高棚小	6	49
5	24	金	二本木小	6	134	6	27	木	作野小	6	118
5	28	火	安北小	6	130	6	28	火	祥南小	6	66
5	29	水	丈山小	6	96	6	2	金	明和小	6	72
5	31	金	梨の里小	6	74	7	2	金	志貴小	6	25
6	4	火	安中小	6	100	7	3	水	安東小	6	76
6	5	水	新田小	6	82	7	5	金	桜町小	6	129
6	6	木	桜井小	6	139	7	9	火	三安小	6	89
6	11	火	今池小	6	74						
6	12	水	安南小	6	97						
6	18	火	錦町小	6	93						
6	19	水	安西小	6	94	小学校児童数 計				1,944	
6	25	火	桜林小	6	107	H30				2,028	

b 市内中学校2年生(企画・特別展、常設展、埋文セ) 見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数		
5	7	火	明祥中	2	115	5	22	水	安北中	2	274
5	8	水	安南中	2	275	5	23	木	桜井中	2	205
5	9	木	安西中	2	264	5	30	木	安祥中	2	191
5	16	木	東山中	2	255	6	7	金	篠目中	2	210
									中学校生徒数 計	1,789	
									H30	1,773	

c 市内他学年(社会学習、総合的な学習の時間、企画展・特別展見学)

(a) 小中学校

月日	曜	学校名	学年	人数	備考	
5	15	水	安南小	6	65	
					総合学習	
					小学校児童数 計	65
					H30	117

d 市外小中学校(児童・生徒) (企画・特別展、常設展、埋文セ) 見学

月日	曜	学校名	学年	人数	備考	
7	17	水	岡崎特別支援学校	中学部	6	
					常設展見学、埋蔵文化財センター見学、土器さわり体験	
					市外中学校生徒数 計	6
					H30	254

(注) 改修工事に伴い、市内小中学校受入は1学期のみとなり、市外からの見学学習はご遠慮いただいた。

(ケ) 職場体験学習・教員異業種体験研修

a 市内中学2年生 5～6月 9:00～15:30

	学校	発掘体験	土器 洗い	見学学 習補助	文化財 保護	資料 整理	収蔵庫 見学	土器 作り	インタ ビュー	受 付	備考	
1	桜井中	見学：坂戸	○	○	○			○	○	○	3日間・女子1	
2	篠目中	見学：坂戸	○	○	○			○		○	2日間・男子3	
3	安祥中	○三ツ塚	○	○				○		○	3日間・男子2	
4	安南中	○寺領	○	○	○			○		○	3日間・男子3	
5	安北中	○寺領	○	○	○			○		○	3日間・男子1	
6	明祥中	○寺領	○	○	○			○		○	3日間・男子1	
7	東山中	○三ツ塚	○	○	○			○		○	3日間・男子2	
※文化財保護活動：史跡巡回（点検、除草）										参加生徒数	計	13
										(H30)		14

b 小中学校・高校教員 7～8月 8:30～17:00

	所属校	発掘 三ツ塚 遺跡	土器 洗い	学芸資 料整理	文化財 保護	体験資 料整備	収蔵庫 見学	火切り 板加工	受付・ イベン ト補助	懇 談	10年経験者研修 初任者研修	
1	高浜高校		○		○			○	○	○	3日間	
2	安北中		○		○			○	○	○	3日間	
3	安北中	○		○				○	○	○	2日間	
4	安北中	○	○	○					○	○	1日、半日2	
5	安北小		○	○					○	○	3日間	
6	桜井小	○				○			○	○	1日	
※文化財保護活動：史跡巡回（点検、除草）										参加教員数	計	6
										(H30)		7

(コ) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習をおこなった。

a 期間：7月31日（水）～8月2日（金）、8月6日（火）～8日（木）（6日間）

b 実習生：愛知大学 2名
 東海学園大学 1名
 愛知県立大学 1名
 静岡大学 1名
 愛知学泉大学 1名
 立命館大学 1名
 八重洲学園大学 1名
 岐阜女子大学 1名 計9名

c 実習日程

開催日	午 前	午 後
7月31日	博物館見学	市民ギャラリー・埋文センター見学 常設展示の展示替え説明
8月1日	博物館業務に関する講義 文化財保護行政に関する講義	美術工芸資料の取扱い
2日	民具資料の取扱い	民具資料の取扱い
6日	常設展展示替え準備	常設展展示替え準備
7日	考古資料の取扱い	考古資料の取扱い
8日	常設展展示替え	常設展展示替プレゼン、まとめ

(サ) 出前講座等

月 日	演題	対象	講師割当	参加人数
5月10日	安城松平家とその時代	シルバーカレッジ21	野上	43
6月20日	安城の消防の歴史 —自衛の時代から警防団まで—	安祥公民館高齢者教室	三島	101
6月28日	日本デンマークと安城の発展	中部公民館高齢者教室	田中	76
8月24日	都築弥厚から明治用水、安城の発展	東伸運輸	田中	24
9月20日	安城松平家の時代	セブンティーンズ	三島	32
10月3日	安城市域の年末年始の行事・風習	コープ野村芙蓉会	坂本	30
11月1日	安城市域の年末年始の行事・風習	作野公民館高齢者教室	坂本	77
2月6日	お世話になった今池小学区の歴史を学ぶ	コープ野村芙蓉会	館長	31
2月8日	私と丈山先生との出会い	丈山苑来苑者	館長	35
		合 計		449

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

開催日	活動内容	実施日数	参加人数
4月13日～ 8月24日	常設展ガイド	10日間	20
5月5日	鎧の試着会	1日間	9
5月14日～ 7月9日	小中学校見学学習 (常設展示室案内、火おこし体験補助)	21日間	98
10月5日	安祥文化のさとまつり	1日間	8
		合 計	135

*毎月定例会を1回開催(11月の定例会はバス研修、田原市博物館・池ノ原公園・吉胡貝塚資料館を見学)

*常設展ガイドは原則毎月第2・4土曜日に午前・午後交代で実施。案内人数：86人
9月以降は休館のため中止

(イ) 学校教育活動への支援

- a 小学3年生の「昔の道具」学習などに対し、民具資料を貸し出し。(0件)

(ウ) 指定管理事業

- a 体験講座講師、歴博イベント講師として、市内団体や市民の方に依頼した。

b 公園環境整備事業

(a) 城址公園整備

台風などで発生した枯れ木などの撤去作業を実施した。

またギャラリー駐輪場横にある荒れた芝生スペースを改修し、追加で花植えを行った。

(b) メダカ放流

8月29日(金)に、約10,000匹のメダカを笹の塔前の池に放流。放流を行った日は安祥文化のさと全域を使ったイベント「ナイトミュージアム」を行っており、来館した方に放流に参加していただいた。

c ボランティア事業

「安祥文化のさとボランティア」と命名し、ボランティア事業を推進。「安祥文化のさと生き物クラブ」(城址公園整備)と「歴史文化イベントチーム」(歴史博物館イベント事業サポート)の2つに活動内容を分けし、活動をおこなっている。

カ 指定管理者によるその他事業

(ア) PR・広報等

a HPアクセス数

年度	総数	1ヵ月あたり	1日あたり
27	37,283件	3,106件	101件
28	63,695件	5,308件	174件
29	44,571件	3,714件	122件
30	44,796件	3,733件	124件
31	44,156件	3,679件	120件

b SNSの更新 ※末尾()内の数字は30年度実績

- (a) ブログ(歴史博物館からのお知らせ) 22記事(70)

- (b) Facebook(フェイスブック) 投稿数103回(197)

- (c) Twitter(ツイッター) 201ツイート(230)

※リツイートその他、市民ギャラリー・安祥城址公園の投稿も含む

- (d) Instagram(インスタグラム) 投稿数43回(26)

※安城市民ギャラリー、安祥城址公園の投稿も含む

c 新聞等でのPR ※末尾()内の数字は30年度実績

- (a) 広告掲載 3回(11)

- ・企画展「火消しまいる」

中日新聞(全三河版)4月13日

- ・特別展「1964」

中日新聞(全三河版)7月20日

中日新聞(県内版)7月21日

(b) 新聞等掲載（報道機関発表、掲載依頼） 11回（19）

・企画展「安城の今昔1 火消しまいる」

情報誌みどり「インフォメーション」春号掲載

KATCH「キャッチタイム」4月17日放映

朝日新聞夕刊「美博ノート」 4月23日掲載（資料紹介：三島寄稿）

4月30日掲載（資料紹介：三島寄稿）

5月7日掲載（資料紹介：三島寄稿）

中日新聞 4月28日掲載

ぶらりん西尾「今月のお出かけ情報」5月号掲載

ハピなびあおみ「おでかけカレンダー」5月号掲載

PitchFM「まちのまど」 5月10日

PitchFM「まちかどリポート」 5月10日

東海テレビ地方ニュース放映 5月18日

毎日新聞「美術館・博物館」 5月18日掲載

安城ホームニュース 5月24日掲載

CBCテレビ地方ニュース放映 5月25日

毎日新聞「美術館・博物館」 5月30日掲載

ぶらりん安城「今月のお出かけ情報」6月号掲載

・特別展「1964」

情報誌みどり「インフォメーション」夏号掲載

中日新聞 7月21日掲載

中日新聞「週末ガイド」 7月25日

ぶらりん安城「今月のお出かけ情報」8月号掲載

安城ホームニュース 8月10日掲載

中日新聞 8月15日掲載

NHK地方ニュース放映 8月22日放映

名古屋テレビ地方ニュース放映 8月22日

中京テレビ地方ニュース放映 8月23日

CBCテレビ地方ニュース放映 8月23日

ZIP-FM放送 8月25日 ナイトミュージアム&特別展

・その他

中日新聞 5月5日掲載 三河万歳

中日新聞 6月23日掲載 安祥城址公園のハンゲシヨウ

中日新聞 8月15日掲載 桜井純氏の戦争体験絵の解説について

(c) 新聞折り込みチラシ 3回（8）

・4月13日朝刊 消防体験デーチラシ 2,950枚

・6月8日朝刊 ぷらす珈琲店チラシ 2,950枚

・8月24日朝刊 ナイトミュージアムチラシ 2,950枚

d その他

(a) 企画展「安城の今昔1 火消しまいる」にちなんで、「消防車がやってくる！消防体験デー」「衣浦東部広域連合消防局消防音楽隊コンサート」を開催。

(b) 企画展「安城の今昔1 火消しまいる」の広報展開にて、愛知県内の消防署や安城市内の消防団に案内チラシを送付した。

- (c) 企画展「安城の今昔1 火消しまいる」の展示の世界に親しんでもらうべく、「安城の“火消し”体験コーナー」をエントランスに設置。消防半纏を着ての写真撮影コーナーや土曜・日曜限定で刺し子小物づくり体験、半鐘を鳴らしたり、龍吐水（消防ポンプ）で水を出す民具体験を実施した。
- (d) 特別展「1964」で子ども向けチラシを制作し、安城市内の小中学生を対象に配布した。
- (e) 特別展「1964」の広報展開にて、愛知県内のスポーツ施設、オリンピック関連のスポーツ団体事務局に案内チラシを送付した。
- (f) 特別展「1964」の広報展開にて、東京2020オリンピックの関連イベントをPRできるWEBサイト「東京2020 参画プログラム」に登録。WEBサイトにて特別展の案内を掲載した。
- (g) 特別展「1964」にちなんで、「1964年にタイムスリップ！懐かしの体験コーナー」をエントランスに設置。鉄道ジオラマや昭和の茶の間を再現した写真撮影コーナー、フォトフレームづくり、謎ときクイズラリーのイベントを実施し、大人から子どもまで幅広い世代に展示を楽しんでもらえるよう実施した。
- (h) 特別展「1964」にて、「1964年生誕特別割引」を設定。1964年生まれの観覧料100円割引のサービスを行った。

(イ) 安祥文化のさと会員

元年度会員数 129 名（30 年度：354 名）

内容：会費 500 円

入会特典

情報誌「れきしみち」・展覧会チラシ等を発送

会員証提示で常設展観覧料2割引

チケットプレゼント（特別展「1964」）

オリジナルハンドタオルプレゼント

(ウ) JAF会員優待サービス

元年度利用者 315 人（30 年度：537 人）

JAF 会員証提示で常設展2割引

JAF のホームページに施設案内が掲載される

(エ) ミュージアムショップ

特別展・企画展にあわせて、関連する書籍を販売。歴史博物館のマスコットキャラとして制作した「じんめんにゃん」のオリジナルハンドタオルを制作・販売。

年間を通じて好評な古墳グッズ・戦国グッズについては、新規の商品を販売した。

キ その他

(ア) 無料開館

5月19日（日）、国際博物館の日（5月18日）にちなみ、常設展を観覧無料にした。

観覧者：一般98人（小中学生含む）

(イ) 安城市母子福祉会との連携事業

7月28日（日）に安城市母子福祉会との連携事業で「夏休みイベント」を実施。

(ウ) ウォーキングの誘致

4月30日（火）の名鉄JR合同ウォーキングや、10月5日（日）のけんぽれんウォーキングなど時期やイベントに合わせて誘致を行った。

※4月30日観覧者：一般685名、小中学生83名

10月5日さとまつり来場者：約8,000名

(2) 令和2年度事業計画案

ア 今年度の方針（重点努力目標）

- (ア) 引き続き収蔵庫の整理を進め、収蔵品の把握に努めるとともに、次年度には収蔵品展が行えるようにする
- (イ) 特別展・企画展は、観覧者の目線を意識した展示に努める。展示意図を明確にし、一般の人にわかりやすい解説にする
- (ウ) 改修工事後の企画展示室・常設展示室の展示環境を整備する
- (エ) 調査研究を進めるとともにその成果として研究紀要発刊のための原稿作成をする
- (オ) 指定管理者のノウハウを活かして、集客を促す広報PR展開を実施する
- (カ) 安祥文化のさとまつり・ナイトミュージアムの開催による施設PRを充実する
- (キ) 市民ボランティア事業を充実する
- (ク) ミュージアムショップを充実する
- (ケ) 安祥文化のさと駐車場整備を実施し、来館者の利便性向上を図る

イ 収集・保管活動

収蔵品整理として10年間で99,000点の整理を行う計画のうち、9,000点を目標に進める。

ウ 展示活動

(ア) 常設展

a 展示替えの実施

弥生コーナー（8月）、博物館実習（8月）、その他随時。

b 特別展・企画展

(a) 令和2年度

種別	名 称	期 間	目標値（人）
特別企画	ポスターで振り返る安城市歴史博物館の30年	4月1日～4月12日 （～4月10日）	1,000 （実績339）
企画展	安城の今昔2 こよみとくらしー冬暖夏涼・季節道具ー	4月25日～6月28日 （5月20日～）	2,500 （実績1,668）
特別展	戦争に行くといくこと	7月18日～9月13日	5,000
特別展	江戸の遊び絵づくし（買取展）	10月3日～11月15日	7,000
企画展	描かれた戦争ー警察官が見た戦中戦後の愛知ー	12月5日～1月11日	2,500
特別展	家康と松平一族	1月30日～3月7日	6,000
		合 計	24,000

(b) 参考 令和3年度 予定

種別	テーマ	期間	備考
企画展	安城の今昔3	4月～6月	収蔵品展（民具）
特別展	浮世絵 美人画	7月～9月	買取展
特別展	「あさきゆめみし」と源氏物語	10月～11月	
企画展	女子のたしなみ	12月～1月	収蔵品展
特別展	廃仏毀釈と大浜騒動	2月～3月	

エ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座・シンポジウム

- a 特別展・企画展の記念講演会
- b 連続講座「村絵図で巡る安城今むかし」(全6回) 中止
- c 入門講座「古文書手ほどき」(全8回) 中止
- d 連続講座(下半期:全4回)
- e 松平シンポジウム

(イ) 展示関連イベント

- a もう一度見たい展示総選挙
- b 学芸員による常設展特別ガイド 中止
- c こよみとくらしクイズ
- d かしわ餅作り 中止
- e 箱寿司づくり 中止
- f 祈りの木に折り鶴を飾ろう
- g 謎解きクイズラリー
- h 回り灯籠を作ろう

(ウ) 夏休み事業

- a 自由研究相談会
- b ナイトミュージアム

(エ) 歴博演芸場・ミニコンサート

- a 竣工記念コンサート(出演:おかげん雅楽会 会場:エントランス) 中止
- b さとの音楽祭(出演:長屋梨沙ほか 会場:石舞台) 中止
- c 三味線コンサート(出演:山口晃司 会場:石舞台)
- d 三河万歳

(オ) 歴史体験講座

- a 鎧の試着会 中止
- b 姫きもの作ろう 全6回 中止
(下半期は計画中)

(カ) 刊行物

- a 特別展図録
- b 企画展パンフレット

(キ) その他

- a 見学学習
- b 職場体験学習
- c 博物館実習
- d 出前授業

オ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

- a 常設展示ガイド（毎月2回）
- b 見学学習対応
- c 安祥文化のさとまつり
- d 鎧の試着会

(イ) その他

- a 地域団体・市民講師の活用
- b 近隣施設との連携
- c 安城駅前商店街との連携
- d 近隣の教育機関との連携
- e 県内外市町村との連携

カ その他

(ア) 国際博物館の日（5月18日）にちなみ無料開館（5月17日（日））中止

(イ) 館内案内表示・公園内案内表示・展示看板の多言語化

常設展示入口看板など、重要な部分を優先して中国語・英語などの多言語化を図る。

(3) 令和2年度開催済事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数 ※令和2年4月11日～5月19日まで新型コロナウイルス対策の為、休館

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人	計	大人計	合計				
			中学生以下		中学生以下計					
4	18	18	413	450	431	468	79	5	140	692
			37		37					
5	54	54	277	380	331	434	130	0	84	648
			103		103					
6	179	179	1,174	1,428	1,353	1,607	448	17	332	2,404
			254		254					
計	251	251	1,864	2,258	2,115	2,509	657	22	556	3,744
			394		394					

(イ) 利用形態別入館者数

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会(シ ンポジウム 含む)	歴博 講座	体験 講座	連続 講座	入門 講座	歴博イ ベント	さとま つり・ ナイト ミュ ジウム	歴博 演芸場	公園イ ベント	企画展 関連イ ベント	自主企 画講座	文献資 料室	その他	延べ利 用者合計
4	399	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	0	5	140	692
5	342	92	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130	0	0	84	648
6	1,326	281	0	0	0	0	0	0	0	0	0	448	0	17	332	2,404
計	2,067	442	00	0	0	0	0	0	0	0	0	657	0	22	556	3,744

イ 展示事業

(ア) 企画展「安城の今昔2 こよみとくらし 一冬暖夏涼・季節道具」開催結果

a 会 期 令和2年4月25日(土)～6月28日(日) 実開館日57日
※新型コロナウイルスの影響により、5月19日(火)まで閉館 実開館日35日

b 観覧者数 1,668人【目標2,500人】1日平均47人

c 期間中の催し物

(a) 企画展記念講演会

5月16日(土)「暮らしの道具から歴史を読み解く」

講師：久保禎子氏(一宮市尾西歴史民俗資料館学芸員) 中止

(b) 歴博講座

6月20日(土)「夏のくらしと行事・風習」

講師：坂本晃基(本館職員) 中止

(c) その他

「ウ その他事業」(25ページ)に記載

d 音声ガイドの利用状況 58人 (一般観覧者利用率3.5%)

e パンフレット 1,600部発行(無料配布)

f 展示について

(a) 展示点数179点(パネル写真含む)

(b) 春は洗濯道具、夏は涼む道具や虫を除ける道具など、それぞれの季節で使用する民具に焦点を当てて展示した。更に、昭和30年頃の夏と冬の家庭の様子を再現した展示を行い、その中で当時の生活模様や使用された民具を紹介した。

(c) 伊勢暦(嘉永7年)の記載内容の拡大パネルや用語の解説シートを配置することで、当時の生活に密着した吉凶などについて紹介した。

(d) キャプションで紹介しきれなかった民具の一部を、子どもでも理解しやすいように簡単な言葉で説明するパネルを作成した。

g 観覧者

(a) 新型コロナウイルスの影響で約1か月間閉園したことで、展示を見せる期間も縮小してしまった。再開後も外出自粛が国から謳われていたため、積極的な展示のPRもしづらい状況となった。

(b) 展示観覧者数が目標値の66%となった。例年、この時期に行われる小中学校の見学学習が相次いで中止となり、子どもたちに展示を見てもらう機会が激減してしまった。しかし、6月以降から徐々に来館者が増え、中旬の土日は平均100人を超える観覧者数を記録した。

(c) 展示関連イベントや講座が中止したため、展示の観覧を誘発するような機会も減少してしまった。

(イ) 開館 30 周年特別企画「ポスターで振り返る安城市歴史博物館の 30 年」

a 会 期 令和 2 年 4 月 1 日 (水) ～ 4 月 12 日 (日) 実開館日 11 日

※新型コロナウイルスの影響により、4 月 11 日 (土) から閉館 実開館日 9 日

b 観覧者数 399 人【目標 1,000 人】 1 日平均 44 人

c 期間中の催し物

(a) その他

「ウ その他事業」(25・26 ページ)に記載

d 展示について

(a) 展示点数ポスター実物 59 点、所蔵資料 6 点、「広報あんじょう」4 点、開館記念式典次第 1 点、開館記念として販売されていた文鎮 1 点、開館時の常設展観覧券 2 点を出品した。

(b) 令和 3 年 2 月に開館 30 周年を迎えるにあたり、過去 30 年間に開催された特別展・企画展のポスターを中心に、開館前後に発行・公開された広報誌や映像、博物館が所蔵する資料から、歴史博物館 30 年の軌跡を紹介した。

(c) 「広報あんじょう」に掲載された記事を通じて、博物館が建設に至った経緯を紹介し、さらに、展覧会が開催されるまでの過程や 4 名の学芸係職員それぞれの展示に対する想いを取り上げることで、調査・研究といった博物館活動の一端も紹介した。

(d) ポスターは各年度から 2 点ずつ年度順に掲出し、展示することができなかったポスターは、その年にあった世の中で起きた主要な出来事とともに、年度別展示一覧として画像を提示した。

(e) ポスターは令和 3 年 2 月の開館 30 周年まで、博物館と市民ギャラリーをつなぐ通路の一角を利用して、改めて年度順に 2 枚ずつ入れ替えながら展示することで、引き続き 30 周年の雰囲気盛り上げていく。

e 観覧者

(a) 新型コロナウイルス感染症の感染が拡がり、4 月 7 日 (火) には 7 都府県に緊急事態宣言が出され、最後の週末となる 4 月 11 日 (土)、12 日 (日) が休館となったことも重なり、観覧者が目標値の約 4 割となった。

(b) 期間中に開催を予定していたセレモニーやコンサート、特別ガイドが中止となったことで、展示への集客が十分に実施できなかった。

(c) アンケート結果では、企画については概ね満足であり、展示を企画している担当者の意気込みや意図もよくわかったというコメントも見られた。

ウ その他事業

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会・シンポジウム

開催日	演 題	講 師	聴講者数
5月16日	「暮らしの道具から歴史を読み解く」	久保禎子氏 (一宮市尾西歴史民俗資料館学芸員)	中止

b 連続講座

開催日	演 題	講 師	聴講者数
4月11日 4月25日 5月9日 5月23日 6月13日 6月27日	「村絵図で巡る安城今むかし」	高山忠士氏 (安城市歴史博物館元館長)	中止

*全6回、定員18人

c 入門講座

開催日	演 題	講 師	聴講者数
5月9日 5月23日 6月13日 6月27日 7月11日	「古文書てほどき」	三島一信 (本館学芸員)	中止

*8月22日まで、全8回、定員15人

(イ) 展示関連イベント

開催日	タイトル	参加者
4月1日～4月10日	開館30周年記念	315
5月20日～6月28日	もう一度見たい展示総選挙	
4月4日・5日	学芸員による常設展特別ガイド	中止
4月25日	柏餅づくり	中止
5月30日	箱寿司づくり	中止
4月25日～6月28日 (5月20日～)	こよみとくらしクイズ	226
4月25日～6月28日 (5月20日～)	子どもたちのしゅくだい (こよみとくらしクイズにチャレンジ!の参加者)	116

合計657人

(ウ) 体験講座等 (指定管理事業)

開催日	講座名	講師	参加者
5月3日 5月4日 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、 博物館ボランティア	中止
5月10日 5月24日 6月14日 6月28日 7月12日 7月26日	姫きもの作ろう	古裂美術工房 榊原清美氏	中止

* 「鎧の試着会」は5月3日・4日は事前予約制、5日は先着順

(エ) 歴博演芸場・イベント (指定管理事業)

開催日	演題・演奏者	鑑賞者
4月4日	安城市歴史博物館 改修工事竣工記念セレモニー	中止
4月4日	歴博演芸場「改修工事竣工記念コンサート」・出演 おかげん雅楽会	中止
4月4日	さとのマルシェ	中止
4月18日	懐かしの“車” 写生大会&写真撮影会	中止
5月5日	歴博演芸場「さとの音楽祭」	中止
5月5日	さとのマルシェ	中止
6月6日	さとのマルシェ	中止

(オ) その他

a 無料開館 中止

5月17日(日)、国際博物館の日(5月18日)にちなみ、常設展示を観覧無料にする。

b 博物館ボランティア

(a) 常設展示ガイド 上半期(4~9月)中止

(b) 見学学習対応 中止

(c) 安祥文化のさとまつり 体験講座は中止

(d) 鎧の試着会 中止

(4) 令和2年度下半期事業（案）

ア 展示事業 ※すべて主催は安城市歴史博物館、会場は同館企画展示室

(ア) 特別展「江戸の遊び絵づくし」

a 開催期間 令和2年10月3日（土）～11月15日（日） 実開催日数38日
休館日：毎週月曜日

b 趣 旨

江戸時代、庶民も楽しめる娯楽として爆発的に広まった浮世絵。美人画、役者絵、風景画といったジャンルがよく知られているが、様々に展開された江戸の出版文化を代表する浮世絵の魅力はそれだけにとどまらない。本展は、遊び心ある造形を見せる多様な浮世絵に注目し、それらを特色別に「寄せ絵」「判じ絵」「組上絵」などに分類しながら、機知とユーモアにあふれた「遊び絵」として総合的に紹介する。

これまであまり紹介されてこなかった遊び絵を鑑賞してもらうとともに、絵が表す言葉や意味を読み解き、背景にある江戸庶民の生活や流行、時事情報、さらには風刺の精神などに迫る。また、影絵や判じ絵などの楽しみ方を体験できるコーナーを設け、見て、読んで、触れて、幅広い年齢層の方々に江戸庶民の遊び心を楽しむ内容である。

c 観 覧 料 一般500円（中学生以下無料）

d 展示構成（出品予定件数110件）

- 第1章 よって、たかって、こしらえる（16点）
- 第2章 ふしぎなからだー合体・あべこべ・顔三つ!?（16点）
- 第3章 幸せはこぶラッキーアイテム（9点）
- 第4章 チャレンジ！江戸っ子と知恵くらべ（24点）
- 第5章 身振り手振りでこれな～んだ？（10点）
- 第6章 みんな大好き♪おもちゃ箱（22点）
- 第7章 人も世相も茶化しちゃえ！戯画ワールド（13点）

e 出版物 『江戸の遊び絵づくし』（株式会社アートワン発行）240頁、
2,200円（税込）

f 関連行事 *指定管理者事業を除く

(a) 記念講演会 令和2年10月31日（土）

講師：神谷 浩 氏（徳川美術館副館長兼学芸部長）

タイトル未定

(イ) 終戦 75 周年記念企画展「描かれた戦争—警察官が見た戦中戦後の愛知—」

a 開催期間 令和2年12月5日(土)～令和3年1月11日(月・祝)
実開館日 27日 休館日：毎週月曜日

b 趣 旨

令和2年は、アジア・太平洋戦争終戦から75年にあたります。今夏に特別展で戦争に駆り出された兵士の姿を主として展示するが、本展では戦時中・戦後の内地の姿を表した絵を中心に展示する。

近年、当館では戦争に関する資料を多く寄贈を受け、数や量だけではなく、内容も豊富になっている。これらの資料は後世に伝えていくため、当館で収蔵し、大切に保管している。

多くの収蔵資料の中で、本展では戦中に愛知県警察部警備隊員となった市内在住の方(桜井純氏)が戦後に描いた戦争に関わる絵画を紹介する。

桜井氏が所属した警備隊は、名古屋や各地の空襲の現場に赴き、主に避難誘導、救助する任務であったため、桜井氏は実際に多くの惨状の現場を見ている。また、戦後には、GHQの警察であったMPとともに、治安維持や飛行機などの軍事物の撤去、破壊の立会などを担当していった。回想した絵画は写真や映像とは違い、正確さに欠き、不完全な部分もあるが、内地の戦争の悲惨さ、戦後の社会の大きな変化を直接的に伝えてくれる資料である。

c 観 覧 料 無料

d 展示構成

- (a) 警備隊員任命(銃後を守る者たち)
- (b) 名古屋・熱田・岡崎空襲
- (c) 戦後のGHQ、MPと名古屋
- (d) 戦前、日常の暮らし

e パンフレット A4 8ページ 1,600部

f 関連行事

- (a) 記念講演会
- (b) 歴博講座 令和2年12月12日(土) 午後2時から
講師：三島一信(安城市歴史博物館学芸員)
タイトル未定

(ウ) 開館 30 周年記念特別展「家康と松平一族」

a 開催期間 令和3年1月30日(土)から3月7日(日) 実開館日32日
休館日：毎週月曜日

b 趣 旨

本館は、松平一族の中心的存在(惣領)であった安城松平家が約50年にわたり本拠地としていた安城城に隣接して立地しており、令和3年2月に開館30周年を迎える。

徳川家康の祖父である4代清康の時、本拠を岡崎に移したが、この安城松平家こそが後の家康につながるのである。三河各地に分立した松平各家の多くは、家康の時に活躍し、数多くの合戦で戦功を挙げ、のちに譜代大名として徳川幕府の幕藩体制を支えた。

今回の特別展は、開館30周年記念特別展として戦国時代から江戸時代初期(16世紀初頭から17世紀中頃)を対象として、三河における松平一族の活動を示す資料や古文書・系図だけではなく、家康の関わった合戦を描いた屏風、絵図面、全国に散らばった松平各家の初期の甲冑や城絵図などを一堂に集めて展示する。

c 観 覧 料 800円 中学生以下無料

d 展示構成

- (a) 松平一族が活躍した時代
- (b) 松平宗家の系譜—安城松平—
- (c) 家康以前の松平一族
- (d) 消えた松平一族
- (e) 一族の底力
- (f) 幕藩体制を支える一族

e 出 版 物 ポスター、チラシ、観覧券、図録(150頁程度を予定)

f 関連行事

- (a) 松平家連続講座 6回(毎週土曜日開催)
※有料(1回300円程度)・講座室・定員80名
- (b) 第10回松平シンポジウム (日曜日開催)
※無料・エントランスホール・定員200名